当初予算書
281P

事業名	【継続】小中学校学力向上対策事業				
当初予算額	財源内訳（単位：千円）				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
8,261				8,261	
事業期間	平成２６年度～			総事業費	

【事業目的】

児童生徒の学力の検証軸として、本市独自の学力調査を実施することにより、学力の定着状況を把握・分析し、各学校における取組の充実・改善に役立てます。定着が不十分な学習内容については、学習問題配信サービスを用いて補充をし、確かな学力を身に付けることを目指します。

併せて、小中学生の英語力やコミュニケーション能力の向上を目的とし、夏季休業中に外国語指導助手を活用したイングリッシュキャンプを実施します。

また、講師を招聘し教職員を対象とした教育講演会や、大学教授等を招いた研修会、授業研究を実施することで、教職員の指導力の向上を目指します。

【事業概要】

学力の定着状況の把握・指導の改善

① 本市独自の学力調査の実施
・検証軸として学力調査を設けます。
（１）対象：小学２・３・４年生、中学１年生
教科：国語、算数（数学）　実施期間：令和７年度１学期
（２）対象：中学１・２年生
教科：国語、数学、英語
実施期間：令和７年度３学期

児童・生徒の学力向上の推進・学習意欲の向上

② 市内小中学校学習問題配信サービス（タブドリＬｉｖｅ！）
・対象・教科：小学３年～６年生・国語、算数、理科、社会、英語
中学１年～３年生・国語、数学、理科、社会、英語

③ ユネスコ・ジオパーク島原市イングリッシュキャンプ
・小中学生の英語力やコミュニケーション能力の向上を目的とし、夏季休業中に外国語指導助手を活用したイングリッシュキャンプを実施します。

指導力の向上

④ 教育講演会　（隔年実施）
・大学院専任教員を講師に招き、教員を対象に講演会を実施します。
（R7は実施なし）

科目	10 款	1 項	2 目	目名称	事務局費	学校教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	①本市独自の学力調査 小２・３・４，中１・２ 教科　国語・算数（数学）・英語 ②学習問題配信ｻｰﾋﾞｽ（ﾀﾌﾞﾚｯﾄﾄﾞﾘﾙ） 小学１～２年国語･算数 小学３～６年国語･算数･理科･社会･英語 中学１～３年国語･数学･理科･社会･英語	①本市独自の学力調査 小２・３・４，中１・２ 教科　国語・算数（数学）・英語 ②学習問題配信ｻｰﾋﾞｽ（ﾀﾌﾞﾄﾞﾘLive！） 小学３～６年国語･算数･理科･社会･英語 中学１～３年国語･数学･理科･社会･英語	引き続き実施予定

当初予算書
281P

事　業　名	【新規】 小中学校英語教育推進事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
2,500				2,500	
事業期間	令和７年度～			総事業費	

【事業目的】

グローバルな人材育成を目指した英語教育の充実を図るために、外国語指導助手（ALT）を活用し、学校の授業に加え、スピーチコンテストやインターナショナルデーの開催など、英語に親しむ機会をつくることで、英語によるコミュニケーションへの関心・能力を養います。

また、英語担当教諭の授業改善を図るために、先進地を視察し、研修成果を市内教職員に伝達する機会を設けます。児童生徒については、英語学習への関心を高めるために、英語検定試験の受験料を支援します。

【事業概要】

○ＡＬＴを活用した事業　200千円

①島原市イングリッシュ・スピーチコンテストの実施

・各中学校から１～２人を推薦しスピーチコンテストを実施します。（小学生は希望者）

・審査員は、市内ＡＬＴ及び高等学校教諭等を予定しています。

・最優秀賞を受賞した児童生徒を県大会へ推薦します。

②インターナショナルデーの実施

・各小・中学校でＡＬＴによるインターナショナルデーを実施します。

③ユネスコ・ジオパーク島原市イングリッシュデイキャンプの実施

○授業改善に係る事業　800千円

①教職員先進地視察

・教職員５人（小２人・中３人）、教育委員会指導主事１人を派遣します。

②幸田町中学生とのオンライン交流事業

・姉妹都市である幸田町の中学生と英語を用いたオンラインでの交流を実施します。

○英語検定受験料補助事業　1,500千円

・日本英語検定協会が実施する英語検定の検定料を、同一年度に１回、全額補助します。

・小学5年生～中学3年生までの受検を希望する児童生徒の保護者が対象です。

＜検定料＞準会場（学校や塾等）で積算

（円）	準2級	3級	4級	5級
程度	高校中級	中学卒業	中学中級	中学初級
準会場	6,100	5,000	2,900	2,500
（円）	1級	準1級	2級	
程度	大学上級	大学中級	高校卒業	
本会場	12,500	10,500	6,900	

＜受検者数の見込み＞

（人）	中3	中2	中1	小6	小5
1級～2級					
準2級	20				
3級	110	30			
4級	40	50	30		
5級			50	40	20
合計	170	80	80	40	20

科目	10 款	1 項	2 目	目名称	事務局費	学校教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	－	上記事業を実施	引き続き実施予定

当初予算書
281P

事業名	【継続】 外国語指導助手招致事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
38,679					38,679
事業期間	平成６年度～			総事業費	

【事業目的】

児童生徒が外国語指導助手の協力を得て、言語や文化に対する理解を深めることと、実践的コミュニケーション能力の基礎を養うことを目的としており、グローバル化した社会で「生き抜く力」を育成します。また、令和２年度から新学習指導要領の全面実施に伴い、小学３・４年生から外国語活動（週１時間）が始まり、小学校５・６年生で英語が正式教科（週２時間）となったことから、ＡＬＴを活用した授業が受けられるようにしています。

【事業概要】

《配置人数》　７人（全小・中学校対象）
《配置校》　第一中、第二中、第三中、三会中、有明中、第一小、第二小
《訪問校》　第三小、第四小、第五小、三会小（長貫分校）、大三東小、高野小、湯江小

外国語指導助手(ＡＬＴ)を７人体制で配置することで、小学１年生から中学３年生のすべての学級において、ＡＬＴを活用した英語教育を行うことができます。

《活動内容》
①授業における支援
・教科担任のアシスタントとして授業をサポートします。
・授業中に児童・生徒に対して、積極的に働きかけ、実践力を身に付けます。
②授業内容の計画作成における連携
・教科担任等からの要望により、指導案を共に作成し、授業での役割分担を明確にした効果的な指導につなげます。
③教材研究
・児童・生徒の実態に即した教材を作成します。

【成果】
①全小・中学校を訪問し、授業で活用します。
活用状況（令和６年４月～１２月）
１日平均　３．５時間

②島原市独自のユネスコ・ジオパーク島原市イングリッシュキャンプを実施しています。

③学校の掲示板にＡＬＴのコーナーを設け、外国の文化の紹介等をすることによって、児童生徒の外国語に対する興味・関心を高めるのに役立っています。

科目	10 款	1 項	2 目	目名称	事務局費	学校教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業を実施	上記事業を実施	引き続き実施予定

当初予算書
283P

事業名	【継続】 不登校児童生徒適応指導事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
5,575					5,575
事業期間	平成８年度～			総事業費	

【事業目的】

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てます。

【事業概要】

〔要因・背景〕

「不安など情緒的混乱」「無気力」の割合が多いと言われていましたが、いずれの理由が主であるか決めがたい複合の割合が最近多く、要因・背景の複合化や多様化の傾向があります。そういう中、上記事業目的をもって設置してある本市適応指導教室は、多様なニーズに対応できる機関の一つとしてその存在価値は大きいものになっています。

〔対策〕※令和６年10月現在の状況
島原市適応指導教室

【ひまわり教室】（本市事業）

・相談員：２人

・通 級 者：小学生１人、中学生２人

・仮通級者：小学生３人、中学生０人

科目	10 款	1 項	2 目	目名称	事務局費	学校教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業を実施	上記事業を実施	引き続き実施予定

当初予算書
287P

事業名	【継続】 子育て応援新入学児童通学用かばん支給事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
5,413				5,413	
事業期間	令和５年度～			総事業費	

【事業目的】

近年、小学校に通う児童が使用している「ランドセル」は、年々高額になり、入学準備を行う保護者等にとって経済的な負担が大きくなっています。また、教科書サイズの変更やタブレット端末の持ち帰りにより、「ランドセル」が大型化し、児童の身体的負担が考えられる状況です。

このことから、「ランドセル」と同程度の機能等を備えた「通学用品（通学用かばん）」を新入学児童に支給することで、保護者等の経済的負担の軽減や児童の身体的負担の軽減等を図り、「とことん子育てにやさしいまちしまばら」の取組の一環とすることを目的とします。

ブルー

ブラウン

ブラック

ワインレッド

※令和８年度入学児童用はブラック（新色）が新たに発売されたため４色での展開を予定しています。

【事業概要】

◆支給対象者

令和８年度就学予定者　３３０人　※転入等の予備含

◆支給対象者への支給までのスケジュール

月	時期	周知関係
令和6年 12	下旬	・各幼保園保護者宛チラシ配布
		・各幼保園へ見本貸出及び庁舎等に見本展示の依頼・計画
令和7年 2	上旬	・入学式後ランドセル使用状況確認
		・各幼保園保護者宛チラシ配布
		・各幼保園へ見本貸出及び庁舎等に見本展示（4月下旬まで）
	下旬	・保護者へ申込書郵送→保護者申込
4	上旬	・保護者希望カラー申込開始（4月中）
	下旬	・再度保護者へ申込書郵送
6	上旬	・発注完了
	下旬	・令和8年度転出入対応（随時）
10~11		・就学前検診において支給方法等の説明
令和8年 2	上旬	・令和8年度対象者支給完了

科目	10 款	2 項	1 目	目名称	学校管理費	学校教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	令和５年度より 上記事業を実施	上記事業を実施	引き続き実施予定

当初予算書
287P・295P

事業名	【継続】 学校司書配置事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
19,313					19,313
事業期間	平成１６年度～			総事業費	

【事業目的】

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、創造力を豊かなものにするなど、人生をより豊かに生きていくうえで欠くことができないものです。

そこで、児童・生徒や教職員に適切な情報提供を行うことができる「学校司書」を配置することで、学校図書館環境の整備を図り、児童・生徒の読書活動を推進します。

【事業概要】

配置人数　　１４人（全小・中学校）

勤　　務　　週３日　　（年間）１２３日程度

勤務時間　　１日６時間

活動内容　　①　経営的活動
・入室者数、貸出冊数、学習利用等の統計
・図書ボランティアとの連携
②　技術的活動
・図書館資料の収集、分類、展示、修理・製本、点検及び廃棄、書架の管理
③　奉仕的活動
・図書の貸出やレファレンスサービス、読みかたり、お話し会の実施
・図書相談、学習資料の提供、広報活動
④　教育的活動
・図書委員や図書館使用学級への援助
・司書教諭や担任との連携

【成果】

図書貸出冊数（年間１人平均）の推移　　（単位：冊）

	平成３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
小学校	166.8	173.4	181.9	184.7	194.7	191.9
中学校	25.5	25.3	29.4	30.2	27.3	28.9

科目	10 款	2・3 項	2 目	目名称	教育振興費	学校教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業を実施	上記事業を実施	引き続き実施予定

当初予算書
287P・295P

事業名	【継続】 学習支援員配置事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
33,560					33,560
事業期間	平成２０年度～			総事業費	

【事業目的】

小・中学校において児童生徒の学力向上のために、学級担任及び教科担任等の補助として授業に入り、学習活動上のサポートを行います。

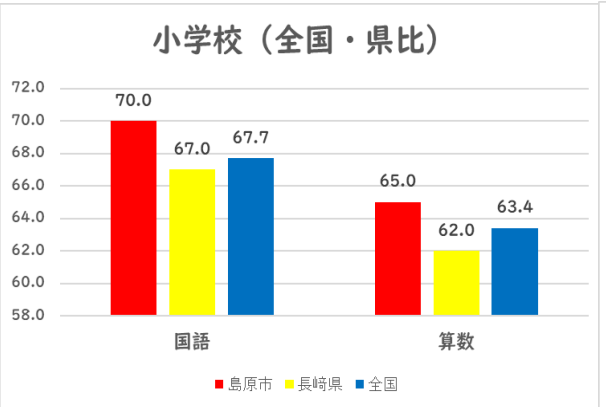
また、教育上特別の支援を必要とする障害のある児童生徒に対し、食事、排泄、教室の移動補助等、学校における日常生活動作の介助を行います。さらに、発達障害の児童生徒に対し、学習活動上のサポートを行い、障害等に応じた適切な教育を実施します。

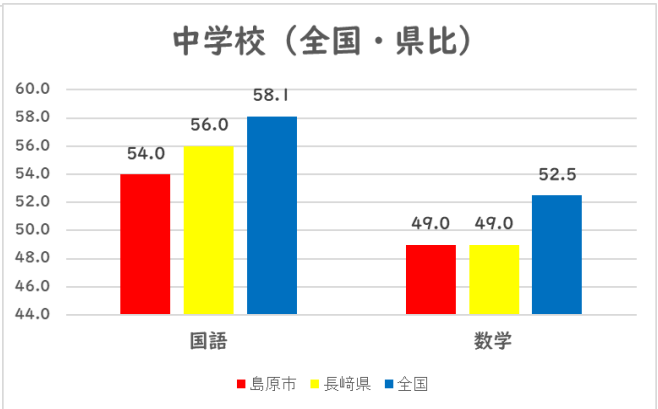
【事業概要】

配置人数　２０人（全小・中学校）
勤　　務　週５日
勤務時間　１日５時間
活動内容　①児童生徒の学習活動の補助
②児童生徒の抱える学習上の困難に対しての支援
③発達障害の児童生徒に対する学習支援、日常生活動作、教室間移動等における介助
④運動会（体育大会）、学習発表会、校外活動等の学校行事の支援
⑤支援方法等の打ち合わせ
⑥その他校長が指示する事項
⑦医療的ケア児に対しての支援

【成果】（令和６年度全国学力調査の結果から）

○小学校国語・算数の平均正答率が全国平均を上回りました。





科目	10 款	2・3 項	2 目	目名称	教育振興費	学校教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業を実施	上記事業を実施	引き続き実施予定

当初予算書
287P

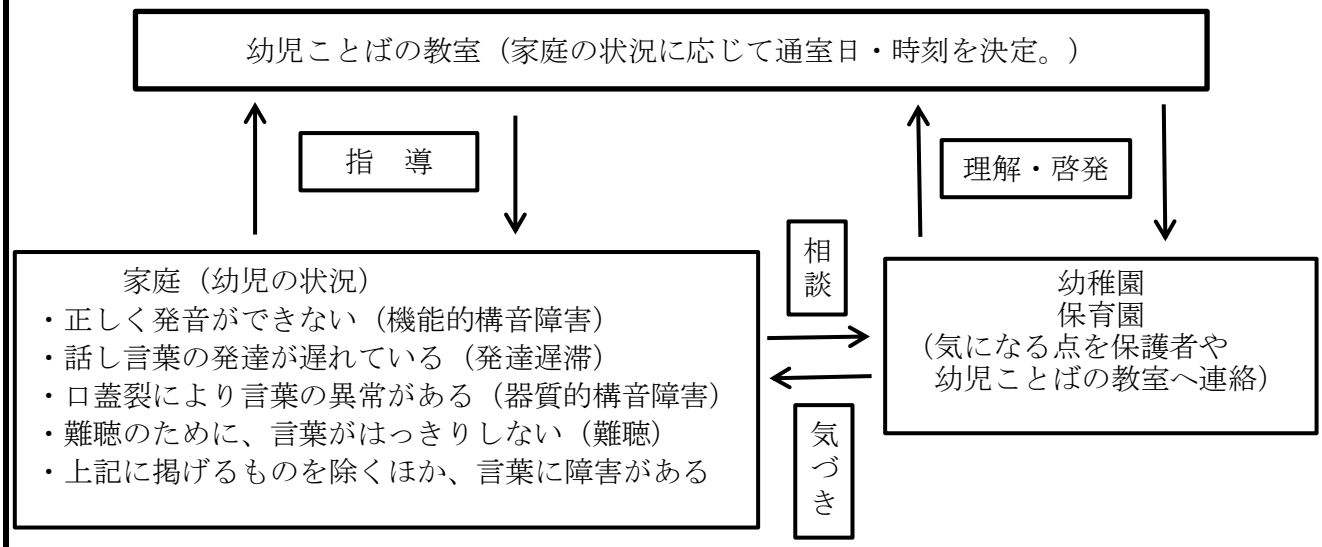
事　業　名	【継続】 幼児ことばの教室設置事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
1,209					1,209
事業期間	平成１１年度～			総事業費	

【事業目的】

言葉に課題のある幼児に関する指導及び相談を行うことにより、課題の改善及び克服を図るとともに、心身の健やかな成長を目指します。

【事業概要】

設置場所　島原市萩が丘二丁目５６８８番地（第二小学校内）
開設日時　週４日（火曜～金曜）
勤務時間　１日４時間
活動内容　指導員1人配置し下図のような連携を図りながら指導・相談を行います。



【成果】

令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
教育相談　４２件	教育相談　４４件	教育相談　４０件	教育相談　３１件
入室児　３０人	入室児　３５人	入室児　３３人	入室児　２９人
退室児　２４人	退室児　２３人	退室児　２７人	退室児　２１人

科目	10 款	2 項	2 目	目名称	教育振興費	学校教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業を実施	上記事業を実施	引き続き実施予定

当初予算書
289P・297P

事業名	【継続】 小・中学校ＩＣＴ推進事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
109,173	40,517			42,873	25,783
事業期間				総事業費	

【事業目的】

令和２年度に開始したGIGAスクール構想の第２期に向け、第１期で導入した1人1台端末の更新を行うほか、よりよい通信ネットワーク及びICT教育環境の整備を推進するため、必要な機器及びアプリケーションソフト等の導入を行うための経費を計上します。

【事業概要】

① ＩＣＴ支援員経費（2人）：GIGAスクール環境を充実させるため、2人の支援員を配置します。（文科省の目標は4校に1人）
② フィルタリングソフト（ｉ・フィルター）：児童生徒がインターネットを使用する際に危険なサイト等にアクセスしないようにセキュリティソフトを利用します。
③ 1人1台端末等修繕料：児童の使用に伴う1人1台端末の破損に対応するために必要な修繕を行ないます。
④ ネットワーク管理保守業務委託料：ネットワーク断線の早期復旧や、機器の故障等に対応するため保守契約を締結します。
⑤ 令和元年度に導入した学校サーバー更新業務委託料：学校ネットワークサーバーが更新時期を迎えたため、市内小中学校8校分のサーバーを更新します。
⑥ 1人1台端末購入（更新）：令和2年度に購入した1人1台端末の更新時期を迎えたため、令和7年度分として1,105台を更新します。（令和9年度までで全台更新予定）
⑦ 校務用PC（教師用）70台：令和2年度等に購入した校務用PC70台の更新を行います。

【積算根拠】（主なもの）　（税込、単位：千円）

	項目	予算内容（積算等）	予算額
①	ICT支援員経費（2名）	報酬、職員手当、社会保険料等	7,473
②	フィルタリングソフト	3,620人（小中）×1,485円（税込）	5,376
③	1人1台端末等修繕料	1人1台端末45台（小中学校）	2,185
④	ネットワーク管理保守業務委託料	月額165,000円（内訳：小110,000円、中55,000円）	2,036
⑤	学校サーバー更新業務委託料	8校（小中）×1,820,940円（税込）	14,568
⑥	1人1台端末更新料	1,105台（小中）×60,000円（税込）	66,300
⑦	校務用PC（教師用PC）70台	70台（小中計）×156,200円	10,780

科目	10 款	2,3 項	2 目	目名称	教育振興費	教育総務課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	機器整備・ライセンス契約等	事業継続	事業継続

当初予算書
291P・297P

事業名	【継続】小・中学校就学援助事業				
当初予算額	財源内訳（単位：千円）				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
49,822					49,822
事業期間				総事業費	

【事業目的】

小学校及び中学校に在学する児童生徒の学用品費や給食費などについて、経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助制度により支援を行うことで、健康で学びに専念できる環境（学校、家庭）を充実させ、将来を担う子どもたちの健全な「人づくり」を目指します。

【事業概要】

援助の内容と積算明細

※単価（ ）は令和5年度平均
※学校給食費については、食数により算定

区分	費目		単価(円)	人数	金額(千円)
小学校	学用品費	1年	11,630	38	443
	学用品費	2-6年	13,900	243	3,379
	学用品費（オンライン通信費）	全学年	7,000	281	1,967
	学用品費(新入学品費)	1年	57,060	44	2,511
	修学旅行費	6年	実費額(22,690)	62	1,407
	校外活動費	5年	実費額(2,600)	35	93
	社会科見学活動費	4年	実費額(3,000)	61	183
	医療費		実費額(5,687)	140	800
	学校給食費		実費額(240)	57,800	13,872
	通学費		実費額(60,000)	1	60
小学校　計					24,715
中学校	学用品費	1年	22,730	63	1,432
	学用品費	2-3年	25,000	135	3,375
	学用品費（オンライン通信費）	全学年	7,000	198	1,386
	学用品費(新入学品費)	1年	63,000	58	3,654
	修学旅行費	2年	実費額(60,910)	57	3,500
	校外活動費	1年	実費額(2,300)	63	144
	医療費		実費額(5,300)	109	578
	学校給食費		実費額(280)	39,204	10,978
	通学費		実費額(60,000)	1	60
中学校　計					25,107
全体　合計					49,822

科目	10 款	2,3 項	2 目	目名称	教育振興費	教育総務課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	上記事業を実施

当初予算書
291P・299P

事業名	【継続】 小・中学校施設整備事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
91,660			65,700	16,960	9,000
事業期間				総事業費	

【事業目的】

学校は、児童生徒が一日の大半を過ごす教育施設であり、学校教育を進める上で安全上、保健衛生上、指導上その他の学校教育の場として適切な環境を確保を目指します。

【事業概要】

学校施設の営繕・管理について、各小中学校において、現場の調査確認を行い危険性・緊急性・必要性等を考慮し修繕・工事を実施します。

≪修繕・工事の内訳≫

○小学校　（単位:千円）

・ 修繕料	7,000
・ 業務委託料	3,530
・ 工事請負費	31,000
合　計	41,530

○中学校　（単位:千円）

・ 修繕料	6,000
・ 業務委託料	3,130
・ 工事請負費	41,000
合　計	50,130

≪主な工事の概要≫

工事名称		工事概要
小学校	第二小学校非常用アンプ取替工事	経年劣化により不調をきたしている非常用放送設備について、修理不可のため更新します。
	第五小学校放送設備改修工事	経年劣化により不調をきたしている放送設備について、修理不可のため更新します。
	第五小学校駐車場アスファルト舗装工事	国道251号道路拡張時に未舗装のままで水はけが悪い児童玄関前を児童の安全性を確保するため、アスファルト舗装を行います。
	高野小学校高圧受変電設備更新工事	耐用年数を超過している高圧受変電設備について更新します。
中学校	第二中学校体育館屋根改修工事	経年劣化により雨漏りしているため、ガリバリウムカバー工法で改修します。
	有明中学校放送設備改修工事	経年劣化により不調をきたしている放送設備について、修理不可のため更新します。
トイレ様式化工事（四小、五小、二中）		和式トイレで不慣れな児童・生徒のストレス、健康面を配慮しトイレの様式化工事を行います。
電話設備更新業務（一小、一中）		経年劣化により不調をきたしている電話設備について、修理不可のため更新します。

科目	10 款	2,3 項	3 目	目名称	学校整備費	教育総務課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	施設整備を計画的に実施	施設整備を計画的に実施	引き続き計画的に実施

当初予算書
295P

事　業　名	【継続】 心の教室相談員配置事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
5,737					5,737
事業期間	平成１０年度～			総事業費	

【事業目的】

中学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、心のゆとりを持てるような環境を提供し、生徒のストレスを和らげることのできる第三者的存在として、全中学校に「心の教室相談員」を配置し、生徒や保護者の悩みや不安を聞くなどの相談活動を実施します。

【事業概要】

《事業主体》　島原市

《事業概要》　配置人数５人（全中学校に各１人）
勤務時間３校　週４日　１日５時間（第一・第二・有明中学校）
２校　週３日　１日４時間（第三・三会中学校）
活動内容①生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行います。
また、生徒のみならず、保護者との関わりを含めた相談活動の実践に努めます。
不登校ぎみの生徒については、特に電話等を活用した家庭との連携を密にした相談活動を目指します。
②地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行います。
③その他、学校の教育活動の支援を行います。

【成果】

より多くの子どもたちの悩みに対応できたかどうかは、相談員としての重要な成果指標です。そのため、相談件数を成果の目標としてあげています。
〔相談件数〕１，５８８件（令和５年度相談件数）
〔内　　容〕いじめ、不登校、友人関係、異性関係、家族問題、健康、子育て、非行、学習・進路、教師との関係等。

科目	10 款	3 項	2 目	目名称	教育振興費	学校教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業を実施	上記事業を実施	引き続き実施予定

当初予算書
303P

事業名	【拡充】国民文化祭（ながさきピース文化祭2025）				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2,538					2,538
事業期間	令和５年度～令和７年度　（複数年度事業）			総事業費	3,200

【事業目的】

令和７年度に長崎県で初開催となる国民文化祭が行われます。本市においても、文化事業の全国大会や本市ならではの文化プログラムを実施し、本市の文化振興を図りながら、本市の魅力的な文化を全国へ発信し、交流人口の増加につなげます。

【事業概要】

令和７年度に長崎県で開催される国民文化祭に向けて、市内文化団体と連携を取りながら、下記の事業を実施します。

●令和７年度　国民文化祭開催、広報・啓発活動

・地域文化発信事業（島原市湧く！沸く！わくわく文化祭、第43回島原城薪能、子ども狂言交流舞台、さくらさくら島原城お箏プロジェクト）

・分野別交流事業（きものの祭典in島原）

国民文化祭の概要（県チラシより抜粋）

科目	10 款	4 項	1 目	目名称	社会教育総務費	社会教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	開催準備、視察など	国民文化祭の開催	―

当初予算書
305P

事業名	【新規】 松平文庫蔵書検索システム更新委託				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
165				165	
事業期間	令和７年度			総事業費	165

【事業目的】

松平文庫には所有する古文書や書籍について検索できる蔵書検索システムを導入しており、島原図書館のウェブサイトから利用できます。

この蔵書検索システムは、島原図書館のサーバ内にあり、令和７年度に島原図書館のサーバがバージョンアップされるのと同時にバージョンアップをする必要がある為、実施するものです。

【事業概要】

蔵書検索のシステム更新（サーバ内システムのバージョンアップ）

【効　　果】

平成３０年度から令和５年度まで６年間かけて実施した古文書調査事業の成果を引き続き広く利用していただくとともに、古文書の研究者等による一層の活用を図ります。

【事業スケジュール】

令和７年度

・松平文庫蔵書システムのバージョンアップ

松平文庫　蔵書検索システム　検索画面

科目	10 款	4 項	1 目	目名称	社会教育総務費	社会教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	－	・松平文庫蔵書検索システムバージョンアップ業務委託	－

事業名	【継続】 松平文庫マイクロフィルム化業務委託				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,000		44			956
事業期間				総事業費	

【事業目的】

本市は、旧島原藩主・松平家から寄贈された歴史的な史料「肥前島原松平文庫（長崎県有定有形文化財）」をはじめ、島原藩の藩士家に伝えられた数多くの史料を所有しています。「肥前島原松平文庫」は目録が刊行されていますが、その他の史料については、ほとんどが未調査、未整理であったため、令和４年、５年度に目録を刊行しました。こうした事業を通じて、広く内外に島原の新たな歴史像・地域像を発信・提示し続けることで、島原市が所有する貴重な史料を地域の活性化に役立てます。

【事業概要】

松平文庫が所蔵する史料を長期保存するためマイクロフィルムに保存します。現在のマイクロフィルムには、ベースにポリエステルが使用されており、保存環境次第では500～800年の寿命があるといわれ、解像度や鮮鋭度にも優れています。

マイクロフィルムからのデジタル処理も可能であることから、まずは、マイクロフィルムを作製し、その後デジタル化をはかるハイブリット（融合）型の媒体変換を行います。

【効　果】

松平文庫の史料をマイクロフィルム化することで、原本の取り扱い機会を減少させ保存できます。

【事業スケジュール】

令和７年度

・マイクロフィルム化業務

科目	10 款	4 項	1 目	目名称	社会教育総務費	社会教育課
事業計画	前年度まで		今年度		来年度以降	
	・マイクロフィルム化業務委託		・マイクロフィルム化業務委託		・マイクロフィルム化業務委託	

事業名	【新規】 埋蔵文化財収蔵庫燻蒸処理委託				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
300					300
事業期間	令和７年度			総事業費	

【事業目的】

埋蔵文化財収蔵庫には、発掘調査で採取した遺物のほか、令和７年度から三ノ丸御殿仲之御居間座敷の部材も保管するようにしています。これらを保管している部材等を害虫から守る為に収蔵庫内部で燻蒸処理を行い、殺虫及び害虫の発生を防止します。

【効　　果】

市指定文化財である三ノ丸御殿仲之御居間座敷の部材を中心に殺虫することで将来的に復元予定の部材の劣化を防ぎます。

【事業スケジュール】

令和７年度

・埋蔵文化財収蔵庫燻蒸処理委託

※三ノ丸御殿仲之御居間座敷の部材の劣化を防ぐ為、下記の事業も併せて実施します。

・空調機修繕
・すのこ床設置
・防蟻処理

埋蔵文化財収蔵庫（有明町）

科目	10 款	4 項	1 目	目名称	社会教育総務費	社会教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	―	埋蔵文化財収蔵庫燻蒸処理業務委託	―

当初予算書
307P

事業名	【継続】 市内遺跡緊急目的調査				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3,356	1,677	50			1,629
事業期間				総事業費	

【事業目的】
・市内遺跡緊急目的調査
各種開発事業の事前に範囲確認調査等を実施し、埋蔵文化財の適切な保護に努めます。

【事業概要】
（緊急目的）民間開発や公共工事の事前に範囲確認、試掘調査を実施します。

【現状・課題】
住宅建設等に伴い、必要に応じて埋蔵文化財の有無を確認するため発掘調査を行います。重要な埋蔵文化財が見つかった場合は、遺跡の保護措置に向けて施主等と設計変更等の協議を行います。遺跡の保護が図れない場合は、本調査に着手が必要となります。
「緊急目的」での調査は予備調査となります。予備調査の費用については、原則として、文化財保護部局負担となります。

東空閑城跡　範囲確認調査の様子

一野遺跡　本調査による古墳の調査状

科目	10款	4項	1目	目名称	社会教育総務費	社会教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	・緊急目的の範囲確認調査等 ・島原城跡総合調査報告書の作成・刊行	・緊急目的の範囲確認調査等	・緊急目的の範囲確認調査等

事業名	【新規】 島原城跡国指定記念シンポジウム				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2,803	1,779	53			971
事業期間	令和７年度			総事業費	

【事業目的】
　島原城跡が国指定史跡に指定された記念事業として記念シンポジウムを開催し、市内外の方々に国史跡となった島原城跡の魅力を発信します。

【事業概要】
　島原城跡を研究している有識者や文化庁調査官等を交えて講演・パネルディスカッションや特別展示を行い、島原城跡の価値や魅力を市内外に発信します。

【効　　果】
　国指定となった島原城跡の魅力を発信することで、市民の皆様の島原城に対する関心を深め、観光客や本物志向の歴史愛好家の方々が本市を訪れるイベントとし、交流人口の増を図ります。

【事業スケジュール】
　令和７年度
　・島原城跡国指定記念シンポジウム

科目	10 款	4 項	1 目	目名称	社会教育総務費	社会教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	―	島原城跡国指定シンポジウム	―

当初予算書
311P

事業名	【継続】 放課後子ども教室推進事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
2,828		942			1,886
事業期間				総事業費	

【事業目的】

子どもの居場所を確保し、安全で安心して子育てができる環境づくりに寄与し、自主学習習慣の育成、地域人材との交流を図るため、夏休みに全地区公民館で「スクールキッズ」を、放課後に学校の施設を利用し全小中学校で「放課後子ども学習室」を実施します。

【事業概要】

○ 「スクールキッズ」…希望する小学生を集め、静かな環境で自学の習慣をつける訓練をします。夏休みの第２週目までの４日間の午前中
（26年度 2公民館、27年度 4公民館、28年度から 7公民館）

○ 「放課後子ども学習室」…放課後1時間に学校の余裕教室を開放し、宿題等の指導を行います。
26年度　1校（小学校）・27年度　10校（9小学校、1中学校）
28年度から　14校（9小学校、5中学校）

【スタッフ】

○ 「スクールキッズ」…退職校長会２人（質問部屋配置）、地域の見守指導員1人（自習部屋配置）を各公民館に配置します。

○ 「放課後子ども学習室」…見守学習支援員を各校1人以上おきます。

【効　果】

学力向上、自学習慣定着、子どもの居場所づくり、少子化対策

科目	10 款	4 項	1 目	目名称	社会教育総務費	社会教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	スクールキッズ　７地区公民館 放課後子ども学習室 ９小学校、５中学校	スクールキッズ　７地区公民館 放課後子ども学習室 ９小学校、５中学校	引き続き継続予定

当初予算書
329P

事業名	【拡充】 長崎県中学校体育連盟主催大会選手派遣費補助金

当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
7,000					7,000

事業期間	令和７年度から拡充	総事業費	

【事業目的】

本市に在籍する中学生が、長崎県中学校総合体育大会の各種競技に出場する場合、また、長崎県新人大会に参加する場合、長崎県中体連が主催する大会であることを条件に、選手が出場するために必要な費用について補助することを目的とします。

これまで、長崎県中学校体育大会への選手派遣補助をしていましたが、加えて令和７年度より、新人大会についても補助を拡充するものです。

【事業概要（開催地・種目・参加者数など）】

長崎県中学校体育大会（５９１人　※Ｒ７年度予定）

令和７年７月

開催地	競技	出場予定人数（のべ）	宿泊	
佐世保市	軟式野球・バスケットボール・ソフトボール	２３１人	あり	
諫早市・大村市	陸上競技・バレーボール	１５０人	なし	
長崎市	水泳・剣道・ソフトテニス	７０人	なし	
西彼杵	卓球	３２人	なし	
島原市	サッカー	６６人	なし	５４９人

令和７年１１月

開催地	競技	出場予定人数（のべ）	宿泊	
諫早市	駅伝	４２人	なし	４２人

長崎県中学校新人大会（４１０人　※Ｒ７年度予定）

令和７年１０月～令和８年２月　…競技ごとに開催

開催地	競技	出場予定人数（のべ）	宿泊	
佐世保市	バスケットボール・バレーボール・ソフトテニス	１３１人	あり	
諫早市・大村市	陸上競技・サッカー・ソフトボール	２０６人	なし	
長崎市	軟式野球・卓球	７３人	なし	４１０人

【積算根拠】

長崎県中学校総合体育大会選手派遣費	5,000,000

（補助費目）大会参加費、宿泊費、交通費など

長崎県中学校新人大会選手派遣費	2,000,000

（補助費目）大会参加費、宿泊費、交通費など

合計額：7,000,000

科目	10 款	5 項	1 目	目名称	保健体育総務費	学校教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	長崎県中学校総合体育大会のみ支援	上記事業を実施	引き続き実施予定

当初予算書
329P

事業名	【継続】 フッ化物洗口推進事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
564		413			151
事業期間	平成２７年度～			総事業費	

【事業目的】

島原市は、むし歯を持つ子どもとそうでない子どもの二極化がみられ、子どもの年齢が上がるにつれてむし歯の本数が増える現状にあります。１２歳児の一人当たりのむし歯の本数は、これまでのフッ化物洗口の取組の効果があり、長崎県平均及び全国平均より低い数値を示すようになってきています。今後も引き続き集団によるフッ化物洗口を小学校において継続することで、むし歯予防を定着させ、市内の子どものむし歯の低減を図ることを目的としています。

【事業概要】

実施対象	小学校１～６年生の希望者、中学校１～３年生の希望者 （全児童が希望した場合、約３，３７６人）
実施方法	フッ化物洗口液１０mLで、１分間「ぶくぶくうがい」をします。 使用薬剤…ミラノール顆粒１１％
実施日時	週１回（年間　小・中学校４２週）
必要物	・薬剤（ミラノール）・カルシウム飲料・紙コップ・ペットボトル
費用	■消耗品 紙コップ １個の値段　約1.8円 年間でかかる費用　**約138千円** ペットボトル 年間でかかる費用　**約52千円** ■薬剤費 薬剤 １人分（１回）のフッ化物洗口水溶液　0.1包（10ml） １包の値段　約27円 １回にかかる費用 約9千円 １年間にかかる費用 **約375千円** **消耗品費１８９千円＋薬剤費３７５千円＝５６４千円**

○医療施設運営費等補助金の対象事業

科目	10 款	5 項	1 目	目名称	保健体育総務費	学校教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	全小・中学校実施	全小・中学校実施	引き続き実施予定

当初予算書
331P

事業名	【継続】 平成新山 島原学生駅伝				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
17,550				17,550	
事業期間	平成１０年度～			総事業費	

【事業目的】

冬の一大スポーツイベントとして定着している平成新山を冠とする大会として、島原の魅力・情報を発信することで交流人口の拡大と地域の活性化に努めます。

【事業概要】

《経緯》平成10年度に、雲仙岳噴火災害から復興した姿をPRするため、「島原・雲仙学生駅伝」として第1回目を開催し、平成20年度からは、島原市1市での開催となっています。島原市内一円にコースを設定し、男女ともにロードレースとして開催しています。

《主体》平成新山 島原学生駅伝大会 実行委員会

※構成団体は以下のとおり。（　　）内は主な役割。

①九州学生陸上競技連盟（大会・選手運営及びエントリー関係・式典催事）

②島原市（会場及びコース管理・大会運営）

③長崎陸上競技協会、島原市陸上競技協会（競技運営）

④長崎国際テレビ（報道関係・大会広報）

《期間》　開　始：男子：平成10年度～　女子：平成17年度～

期　日：12月 第1土曜日

《内容》

・九州学生駅伝対校選手権大会　　7区間　57.75キロ

・九州学生女子駅伝対校選手権大会　5区間　22.80キロ

【予算額の主な内訳】

■収入　九州学生駅伝大会開催費補助金（島原市）　17,550千円

※特定財源　市町振興共同事業助成金　2,461千円　ふるさとしまばら応援基金繰入　15,089千円

■支出　九州学生駅伝大会開催費補助金（島原市）　17,550千円

※【新規】大会運営用カラーコーンの更新（200本）等　594千円

科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業を実施	上記事業を実施	上記事業を実施

当初予算書
331P

事業名	【継続】 市民体育祭運営経費				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3,070				3,070	
事業期間	昭和３０年度～			総事業費	

■概要

【趣旨】広く市民各層の体育・スポーツの普及発展と競技力の向上を図り、あわせて市民相互の親睦融和を深め、明るく健全な郷土島原の発展のために開催しております。

【期日】体育の日の前日を総合開会式及び大運動会とし、その前の週の日曜日を各種競技会として、２日間で開催しております。

【主催】島原市、島原市教育委員会、島原市スポーツ協会

【後援】スポーツ推進委員協議会

【主管】島原市民体育祭実行委員会

【競技】①大運動会、②サッカー、③水泳、④テニス、⑤バレーボール、⑥バスケットボール、⑦レスリング、⑧ソフトテニス、⑨卓球、⑩軟式野球、⑪ソフトボール、⑫バドミントン、⑬弓道、⑭剣道、⑮空手道、⑯相撲、⑰ボウリング、⑱少林寺拳法、⑲ゲートボール、⑳ダンススポーツ、㉑ローンボウルス、㉒ペタンク、㉓グラウンドゴルフ

■経緯

・第１回大会　昭和３０年９月開催

■実績（参加選手数）

（人）

	大運動会	各種競技会	合計	備考
令和６年度	1,035	1,494	2,529	大運動会は半日での開催
令和５年度	－	1,280	1,280	荒天により大運動会中止
令和４年度	1,271	925	2,196	大運動会は半日での開催
令和３年度	－	－	－	大運動会・各種競技ともに中止
令和２年度	－	761	761	大運動会中止、各種競技一部実施
令和元年度	2,615	1,230	3,845	

科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
333P

事　業　名	【継続】 ＪＦＡこころのプロジェクト「夢の教室」				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
5,306					5,306
事業期間	平成２６年度～			総事業費	

【事業目的】
　日本サッカー協会に「夢先生」として登録されているスポーツ選手（現役トップアスリート等）を招へいし、「夢の教室」を開催することで、夢を持つことの大切さや仲間と協力することの大切さを学ぶ機会を提供し、心の教育の充実を図ります。

【事業概要】「夢の教室」事業
主催：島原市、公益財団法人日本サッカー協会
対象：島原市内の全小学校第５学年及び全中学校第２学年のクラス（計：２８クラス）

「カリキュラムの内容」
●【前半】ゲームの時間　　（３５分）
体育館で体を動かしながら、グループで一つの目的を達成するゲームを通じて、目的のために協力すること、相手を思いやる心、フェアプレー精神を、実技の中で気付いてもらう時間です。
①自己紹介　　（　５分）
②サブゲーム　　（１５分）
③メインゲーム＆まとめ（１５分）※夢先生の専門競技をするわけではありません

●【後半】トークの時間　　（５５分）
夢先生の体験談をもとに、児童・生徒とともに夢について語り合う時間です。
①夢先生の夢トーク　　（３５分）
②みんなの夢　　（１５分）
③エンディング　　（　５分）

科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	市内小学校第５学年 全クラス実施 市内中学校第２学年 全クラス実施	市内小学校第５学年 全クラス実施予定 市内中学校第２学年 全クラス実施予定	市内小学校第５学年 全クラス実施予定 市内中学校第２学年 全クラス実施予定

当初予算書
333P

事　業　名	【新規】 国際スポーツ交流事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
940				470	470
事業期間	令和７年度			総事業費	

【事業目的】

ドイツパラリンピック陸上競技選手団やスペインレスリングナショナルチーム、スイス剣道ナショナルチームなどの島原キャンプの経験を活かし、スポーツを通した国際交流や地域活性化を図ります。

なお、令和７年度（４月）に中国剣道チームのキャンプを誘致する予定であり、県、県スポーツコミッションと連携を図りながら受け入れに向けた調整を行っています。

【事業概要】

・選手団の送迎の手配（空港～宿泊所、宿泊所～練習会場等）
・宿泊所の手配
・練習会場の手配
・交流稽古の手配
・通訳の手配　　など

スイス剣道ナショナルチーム島原キャンプの様子

科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	スイス剣道ナショナルチームメンバーなどによる島原市キャンプを実施	中国剣道チーム島原キャンプ	―

当初予算書
337P

事　業　名	【継続】 島原温水プール整備事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
1,133,127	87,730		869,700	98,000	77,697
事業期間	令和５年度～令和７年度　（複数年度事業）			総事業費	2,239,675

【事業目的】

・市民のスポーツの振興と健康増進に活用するためのプール
・九州大会規模の公式の大会ができるプール
・学校プールの受け皿として、学校プールを集約化し水泳授業ができるプール

以上の３項目を目的として、令和７年秋のオープンを目指し、新たな温水プールの整備を進めています。

【事業概要】

≪施設内容≫　鉄筋コンクリート造一部鉄骨造２階建て
メインプール　２５ｍ８レーン（幅２．１ｍ／レーン）
※（公財）日本水泳連盟Ａ級公認プール
幼児用プール　１０ｍ×６ｍ
歩行専用プール　１５ｍ×３ｍ
事務室（救護室）、更衣室（男女、身障者）、採暖室（男女）
トレーニング室１、トレーニング室２（観覧席６０席）、エレベーター、駐車場（約１００台収容）

≪内観≫

≪外観≫

科目	10 款	5 項	2 目	目名称	スポーツ振興費	スポーツ課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	－

当初予算書
339P

事業名	【物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業】 「おいしくいただきます」子育て応援学校給食費支援事業

当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
36,402	33,779				2,623

事業期間	令和７年度	総事業費	

【事業目的】

継続して高騰する食材費の増額分を、給食費の値上げではなく補助金を活用することによって、保護者の金銭的な負担増を回避するとともに、安心安全な学校給食を提供し続けることを目的とします。

【事業概要】

①エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う子育て世帯支援
②物価高騰による小中学生の保護者の負担を軽減するための小中学校等における学校給食費等の支援

【事業期間】令和７年４月～令和８年３月

栄養たっぷりのおいしい給食で子育てを応援します！

【積算】

①令和６年度の支援額（令和６年度２月まで）

	1食当たりの支援額	回数	児童生徒数	支援額総額
小学校	45円	181食	2240人	18,245千円
中学校	50円	179食	1136人	10,167千円

※令和6年度は、物価上昇による2,800千円（国費）の支援額でした。しかし、食材費値上げが予想以上となり、補正予算で追加支援を行うことになりました。主な食材費の値上率（令和6年度値段÷令和5年度値段）は、以下の通りです。

・米穀…1.45倍　・精肉加工品…1.12倍　・野菜…1.15倍
・牛乳…1.08倍（牛乳は、令和4年度より毎年5円ずつ増となっているため、令和7年度は、1.17倍見込む必要があります。）

値上率の平均は、（1.45＋1.12＋1.15＋1.17）÷4≒1.22　となります。
よって、令和7年度の1食当たりの支援額は、小学校55円、中学校61円となります。

②令和７年度の支援額（令和７年度３月まで）

	1食当たりの支援額	回数	児童生徒数	支援額総額
小学校	55円	195食	2134人	22,887千円
中学校	61円	193食	1148人	13,515千円

小学生は1食当たり55円。年間10,725円を支援します。

22,887千円　＋　13,515千円　＝　36,402千円

③令和７年度の給食費支援額　36,402　千円

中学生は1食当たり61円。年間11,773円を支援します。

科目	10 款	5 項	3 目	目名称	学校給食費	学校教育課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	全小・中学校実施	全小・中学校実施	－